

## 国際ランド&ディベロップメントが設計・工事監理業務を担当する 東京大学TAO計画(世界最高高度の天文台建設)における研究棟が竣工

グリーン・コミュニティの実現を目指す日本アジアグループ傘下の国際ランド&ディベロップメント株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:金丸 直幹、以下「国際L&D」)は、東京大学理学系研究科天文学教育研究センターが南米チリ共和国で進めているTAO(The University of Tokyo Atacama Observatory)計画において工事監理業務を行なった研究棟が竣工し、このたび現地で開所式が執り行われました。

TAO計画とは、口径6.5mの赤外線望遠鏡を世界最高高度(標高5,640m:アンデス山脈・チャナントール山山頂)に建設し、銀河や惑星の起源解明のために集中的に観測を推進することを目指して、東京大学大学院理学系研究科天文学教育研究センターが同天文学専攻及び多くの大学、国立天文台などからの支持・協力を基に進めているプロジェクトです。

天文台の建設地であるチリ共和国のアタカマ地域はアンデス山脈にあり、高度5,000mを超えます。その中のチャナントール山(標高5,640m)山頂は気圧が0.5気圧を下回り、湿度は大変低く、晴天率も高い、天文台には最適な土地です。口径1mの望遠鏡はすでに設置され、アタカマ天文台は「世界最高地点の天文台」として、2011年5月にギネスに認定されています。

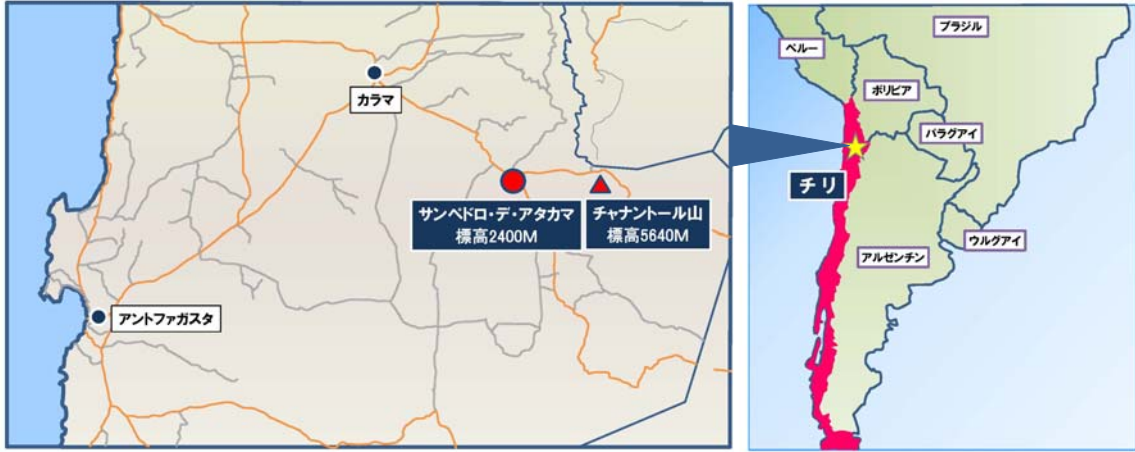
国際L&Dは、このTAO望遠鏡設置に伴う「アタカマ天文台望遠鏡ドームプラットフォーム設計業務」の業務委託先として、現地調査・コンサルティングから天文台望遠鏡ドームのプラットフォーム設計、および研究棟の工事監理業務を担当しております。

国際L&Dは、天文施設の設計・工事監理のノウハウと海外事業におけるプロジェクトマネジメント能力を活用するとともに、同国の法律や慣習等を十分に理解し、特異な気象条件を設計に反映。現地での関係者との綿密な調整を行いながら本業務を実施し、日本における最先端の科学技術分野の発展のために貢献してまいります。

### ■ 受託業務の概要

受託業務1	東京大学アタカマ天文台望遠鏡ドームプラットフォーム設計業務
所在地	チリ共和国第二州アタカマ・チャナントール山山頂
標高	約5,640m
敷地面積	約16,900 m <sup>2</sup>
延床面積	約1,800 m <sup>2</sup>
階数・構造	地上2階建て・鉄骨造、一部コンクリート造予定

受託業務2	東京大学(チリ・アタカマ)理学部天文学教育研究センター研究棟工事監理業務
所在地	チリ共和国第二州サンペドロ・デ・アタカマ市内
敷地面積	約14,700 m <sup>2</sup>
延床面積	約554 m <sup>2</sup>
階数・構造	平屋建て・鉄筋コンクリート造、一部ブロック造



チャナトル山とサンペドロデアタカマ市内：写真提供：東京大学TAOプロジェクト



竣工した研究棟



本業務に関して東京大学総長から感謝状をいただきました

**【国際ランド&ディベロップメント株式会社について】 <http://www.kld.co.jp/>**

---

国際ランド&ディベロップメント株式会社は、その前身である国際航業株式会社の不動産事業部門として 1947年の創業以来、67年間にわたり不動産の開発・運営管理、環境対策、住宅供給などの事業を国内外で実施してきました。

近年は、従来の不動産サービスに加え、再生可能エネルギーの活用、省エネ・蓄エネといったエネルギーソリューションサービスを提供し、低炭素社会の実現に向けた総合的な取組みを「グリーンプロパティ」と定義しサービスを拡大しています。

特に再生可能エネルギー活用分野においては、太陽光発電システム導入のシステムインテグレーターとして、オーナーや事業主の立場にたった総括的な視点から、設計・調達・工事（EPC）・運営管理（O&M）の業務をワンストップで提供しています。

**【名 称】** 国際ランド&ディベロップメント株式会社

**【本社所在地】** 〒102-0085 東京都千代田区六番町2番地

**【資本金】** 1億円

**【業 務 内 容】** 不動産開発・賃貸、不動産・建設コンサルティング・設計・工事  
アセットマネジメント・プロパティマネジメント  
太陽光発電の導入支援・EPC・O&M、エネルギーソリューション

---

**【事業に関するお問い合わせ先】**

国際ランド&ディベロップメント株式会社 企画部 TEL 03-3262-6091 URL : <http://www.kld.co.jp/>